

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022～23年度国際ロータリーテーマ

第1747回例会

令和5年2月16日(12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜様、須賀川RC創立60周年記念式典副委員長 増賀睦朗様、須賀川RC創立60周年記念式典幹事 星規夫様、ランプ工房sifa代表 仁平富美子様

○スマイルBOX

- 郡部仁喜県南分区ガバナー補佐（本日は県南分区IMのPRに参りました。多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。ニコニコ！）
- 須賀川ロータリークラブ 増賀睦朗様、星規夫様（須賀川ロータリークラブ60周年記念式典のPRに訪問させていただきました。お忙しい所恐縮ではありますが、多数のご参加をよろしくお願いします。）
- 高畠裕会長（県南分区ガバナー補佐 郡部様、須賀川RC 増賀様、星様、本日はようこそおいでくださいました。また、卓話をしていただきました仁平様、ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（地区ガバナー補佐 郡部様、増賀様、星様、ようこそ白河西クラブへおいでくださいました。仁平富美子様、卓話ありがとうございます。パストガバナー味戸道雄様の御冥福を！）
- 佐藤清作会員（誕生日お祝いありがとうございます。祝品をわざわざお届けいただきありがとうございます。さていくつだろう。忘れました。）
- 湊洋子会員（パースデイプレゼントありがとうございました。社員、みんなでおいしく頂きました。）
- 金田昇会員（県南分区ガバナー補佐 郡部様、幹事、ようこそ。須賀川ロータリー増賀様、星様、周年PRご苦労様です。）
- 運天直人会員（郡部様、増賀様、星様、ようこそ白河西クラブへ。またゲストの仁平様、本日は卓話ありがとうございます。先週職業奉仕の為欠席しましたのでスマイルいたします。）

▶第1747回例会出席状況 (R5年2月16日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	60
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	61.6%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長



皆様、こんにちは。今日はお客様が4名いらっしゃっております。まず初めに、3月26日開催されますIMのPRということで、県南分区ガバナー補佐の郡部仁喜様がお見えになっております。よろしく申し上げます。それから、須賀川ロータリークラブの創立60周年記念の式典のご案内ということで、須賀川ロータリークラブより60周年の記念式典の副委員長であります増賀睦朗様がお見えになっております。同じく須賀川ロータリークラブ60周年記念式典の幹事であります星規夫様もお見えになっております。皆様からは後程、ご挨拶そしてPRをいただくかなというふうに思っております。そしてまたもう一方、今日卓話でお越しただいております「ランプ工房sifa」様の代表、仁平富美子様でございます。どうぞよろしく申し上げます。先週ウクライナの情勢をお話していただきましたが、今週仁平様からはトルコの地震もありましたが、そういった事でトルコ全般に関するお話を後程していただければなというふうに思っております。藤田委員長さん、本当に仁平さんのお声がけいただきましてありがとうございます。こういう機会ですので、仁平さんからいろんなお話を聞いて学んでいければなと考えております。ということで、朝晩はまだ冷えてますが、昼の日差しはもう温かくすっかり春めいてきたなという感じがしております。先週、白河のだるま市が3年ぶりに通常開催されましたが、その前日にちょっとした大雪、約29センチ程の雪が降りました。ちょっと心配はしたんですが、春の雪的な感じでちょっと日差しがあると溶けてしまうようなそんな雪でありました。また、建設関係の皆様には除雪において大変ご苦労されたのかなと感じております。また、今日お話していただく仁平さんのほうで出ると思うのですが、トルコのほうでも大変地震で被害がひどく、約5万人近くの方がもう亡くなられているということで、東日本大震災の1万8千人に比べても倍以上の死者数が出ております。こちらのほうも、皆さんでいろんな募金活動もあると思います。また今日も、仁平さんのほうが卓話をしていただいた後に募金活動もありますので、ご協力いただいて、少しでもトルコの皆様のお役に立てるような募金活動をしていただければなというふうに感じてお

りますので、是非ご協力のほうお願いしたいと思います。それから、IMが3月26日に開催され、そして須賀川ロータリークラブさんの60周年記念が5月28日にということで、皆様のほうに後日出欠のほう取らせていただきます。こちらの両方なるべく多くの方が参加して、皆さんで式典そしてIMを楽しみながら参加するというふうな方向で進めていきたいと思っております。車の関係もありますので、出欠のほう返事回覧が回りましたら早いタイミングでご返答いただければなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。今日は、この後PRだったり卓話をいただいたりということでお時間があまりありませんので、会長の時間この辺にさせていただきたいと思っております。それから、仁平さんにおかれましてはお話いただいている最中に我々ちょっとお食事させていただく者がおりますので、その辺ご了承ください。本日はどうぞよろしく申し上げます。

○金田昇会員



皆さん、こんにちは。また、郡部さん、増賀さん、星さん、ようこそおいでくださいました。仁平さん、お話楽しみにしております。今日ちょっと報告なんですけれども、まずパストガバナーの味戸道雄さんが先日お亡くなりになられました。97歳でした。存命中は大変お世話になった方も沢山いらっしゃいますし、クラブとしてもご指導沢山いただきました。とても残念ですが、明日お別れの会が開かれます。わたくし出席して参ります。クラブのほうと会長からお預かりしたのもございますが、皆さんの中で何か私も届けてくれとかという届け物があれば私に言っていただければ、明日お昼までいますのでお願いいたします。それと、地区での県中分区のほうからご案内いただきまして拡散してほしいということですが、2月18日「人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ」というふうな事で、プロジェクトが10時から12時の間に開かれます。盲導犬についての実演とか、盲導犬と触れ合ったりとか、盲導犬の実態とかいうものがございます。もしご興味のある方がいらっしゃいましたら、私のほうに言っていただければパンフレット、プリントしてありますのでご案内申し上げます。もし行かれる方いれば私のほうにお願いしたいと思います。

○2022-2023年度 県南分区ガバナー補佐

郡部喜様



皆様、こんにちは。23年が明けまして1か月半経ちますが、改めまして明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひしたいと思います。今日は、IMのPRということでお伺ひしました。先程、

会長のお話の中にだるま市が3年ぶりに開催されたということで11日の日に、ちょうど私初めてなんですよ、だるま市に来たというのは。何故かという一つには、後期の地区委員会総会の中で白河ローターアクトクラブの佐藤さんが11日の日にだるまランドで出店をして、そこで募金活動をやるといってお邪魔してきました。初めて来たんですが、さすが賑やかなおまつりというか、周りのわかってる方から聞いたら、今年はそうでもないんですよ、まだまだなんですなんて言っていましたけど、でも素晴らしかったなと思います。募金ちょっとその時、ポリオとウクライナの募金をされておりましたね。ちょっとつつですがやってきました。以上、報告まで。早速ですが、IM参加の願ひということで。今回はホストクラブ、須賀川ぼたんロータークラブなんですけど、なにせ小さい人数のクラブなんですけど一生懸命やりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それから、今回は佐藤正道ガバナー提唱のクラブ活性化と県南分区会員同士の親睦と交流を発展させる。この二つを目的として、実のある大会になるよう努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。日時は、5年3月26日、日曜日なんですけど、「ホテルサンルート須賀川」において行います。先に新入会員セミナーを10時45分より、講師に県南分区パストガバナー補佐であります東白川ロータークラブ所属の藤田卓さんを講師に新入会員のセミナーを実施します。その後、昼食時間を利用しての第4回県南分区会長幹事会を開催いたします。内容については地区の運用規定変更に伴いまして、次次年度県南分区ガバナー補佐候補者の選出についての説明と、それに伴うパストガバナー補佐会議の日程と、同時に開催予定しております新旧幹事会を兼ねての第5回会長幹事会の日程、その発表等行います。時間がありましたら各クラブの進捗状況とかそれをお話していただきたいと思います。その後、IMの開会式ということで1時20分より開会し、終了後に一部二部三部に分けて、第一部としてパネルディスカッション形式でクラブ活性化を志す会長、そし

て会長の思い、そしてクラブ活動の報告ということで、8クラブ会長よりご報告をいただきます。それが済みますと次期ガバナー補佐紹介ということで、次期は白河南さんの佐藤靖一さんが一応ガバナー補佐を務めるということです。それが済みますと、次期のIMホストクラブ会長よりご挨拶ということで、白河南さんの箕輪さんにお話をいただきたいと思います。それが済みますと第二部として、元日本弁護士連合会会長の荒中（アラタダシ）氏をお招きしての記念講演会を、演題「子供（障害のある子を含む）の法的支援と支える人の危機管理」と題して行われます。荒先生は去年の暮れだと思ひますが、福島県より県出身者で県外在住の功労者として表彰を受けております。以上、講演会が終わりましたら今度第三部として県南分区懇親会ということで、アトラクションとしてお楽しみ抽選会。これはうちの味戸幹事が得意分野なんですけど、それを実施します。皆さんとその時に、交流を深めていきたいと思ひますので、是非多くの皆さんの参加をよろしくお願ひしたいと思います。以上、IMのPRということです。この間、1月21日に後期の委員会総会がありました。その時にガバナーとガバナー補佐会議がありましたが、この後仁平さんのお話があるということでそれは省きますので、どうぞひとつ皆さんよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○須賀川ロータークラブ

須賀川ロータークラブ創立60周年記念式典副委員長
増賀睦朗様

皆さん、こんにちは。どうも。須賀川ロータークラブの60周年の記念式典の副委員長をしております増賀です。それから、幹事をしております星さんと二人でお伺ひいたしました。今日は貴重な時間を割いていただいて60周年記念のPRにお伺ひいたしました。私は以前、貴クラブのガバナー補佐をされておりました吉成さんとはそのお父さんの代から私大変親しくさせていただいておりました。それで吉成さんから、うちのクラブは若い人達が入ってくれるので大変助かってるんですということをお伺ひして、そういう努力をしてるので頑張ってるんだなと思ひて敬意を表した覚えがございます。今日はその60周年を迎えるにあたりまして、「ローターの精神の土台に生きる」ということを大会のテーマにしまして、次代のために歴史と伝統を守り、変化に挑戦するを基本理念としまして、本

年の5月28日曜日に「グランシア須賀川」を会場にいたしまして開催いたします。時間は午後の3時から記念式典。それから、午後4時半から記念講演。午後5時40分から記念祝賀会を開催いたします。また翌日5月29日、「矢吹ゴルフクラブ」におきまして記念ゴルフ大会を開催いたしますので、出来るだけ沢山の方々にご参会いただきたいと思っております。記念講演についてでございますけれど、日本障害者協会代表の藤井克徳さんを迎えまして、「障害者の歴史」と題しまして講演をいただくことになっております。5月28日、29日でございます。出来るだけスケジュールを合わせまして、沢山の方に来ていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。それから、申し遅れました。50周年の時の記念誌ですね。部数は少ないんですが、もし何かお役に立てればと思いますので、これ1冊置いてまいりますので、会長さんに置いてまいりますので後でご覧いただければと思います。というのは、50周年は高槻東ロータリークラブが40周年、私どもが50周年だったんですけど、日本で初めて共同の記念式典をやりましょうという申し入れがありまして、それを日本のロータリークラブの中では初めてやった共同の記念式典だったんですね。その模様がこれに出ておりますので、そういう事をこれをプレゼントしたいと思います。



■幹事報告

車田裕介幹事

- 和光：和光ロータリークラブカタログ
- ガバナー事務所事務局 佐藤直子：ロータリー米山記念奨学会業務委託規定一部改訂の件
- ガバナー 佐藤正道、RLI委員長 佐藤榮朗：ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）卒後コース開催のご案内
- 米山記念奨学会事務局 柚木裕子：ハイライトよねやま275号

■本日のプログラム

ゲスト卓話紹介

○プログラム委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんにちは。本日はゲスト卓話ということで、先程会長も仰ってたように先日はウクライナ情勢についてということで、当クラブも世界情勢になるべくいろいろな情報を受けようということで、本日はトルコの皆さんお手元にこのパンフレットがあると思いますが、トルコランプのお仕事をされている仁平フミコさん。皆さんも多くの方がご存じだと思いますが、当クラブの会員の仁平喜代治会員のお嬢様でもあります。もう長年このトルコこのランプの部分で関わりを持ってますので、そういった部分でももちろんトルコの情勢と今の地震の部分ですね。いろいろな話を織り交ぜながらお話をさせていただくこととなりますので、是非聞いて卓話中にこちらの募金箱回しますので是非ご協力いただいて、例会終了後に仁平さんに託しましてトルコのほうに義援金ということで送っていただくようにしますので、是非こちらのほうもご協力いただければと思います。それでは仁平さん、卓話のほうよろしく願いいたします。

○「ランプ工房sifa」

代表 仁平富美子様



こんにちは。今、ご紹介いただきました「ランプ工房sifa」というトルコランプを手作りできるお店を経営してます仁平富美子と申します。地元だと、ふうこふうこって言われてるんで、多分今日初めて本当の私の名前を知った方もいるかと思いますが仁平富美子です。よろしく願いいたします。突然昨日、ここで話すようにということで、まったくもってこういう場に慣れていないのでとても緊張もしますし、どこまでちゃんと伝えられるのかというのがちょっと不安なんですけど、最後までどうぞよろしくお願いいたします。トルコランプというものをやり始めたきっかけが、地元の方結構知ってると思うんですけど、ちょっと病気になりました。大きな病気で、思いがけない人生の転機をいただいて、その時にもう自分の中で5年くらいで終わると思ってたので、5年間で全部お金使っちゃおうと思って、世界を見て歩いている時にトルコでランプに出会いました。ものすごい綺麗な彩りがいっぱい飾ってあって、なんか心がそこで驚嘆みにされたんですけど。そこから帰って来て、

なんかのりりく
りり5年が過ぎて、想定外の健康体でお金を全部使ってしまったので、残ったお金で自力でこのトルコランプのお店を開いたわけなんですけど。開いた時は協力してくれてた国内の間屋さん、こっちが軌道に乗ったら突然取引停止みたいになっちゃって。それがたまたま出会った日本に住んで20年というトルコ人のおじさんが、私のために無償でトルコから全部仕入れをサポートしてくださいまして、お金を払うといっても一切受け取らないんですね。もう本当に皆なんかそういう人なのかなと思いつつ、そんな感じでお店を続けていよいよ2020年、仕入れをちゃんと自分でしてこようと思って。コロナの始まった時に、まさにその時にトルコにおじさんが帰省してるタイミングで一緒にトルコに再び行かせていただいて仕入れをしたんですけども、その時も取ってたホテルが全部条件がおかしな事になって、気が短いのでブチ切れて出てきちゃったんですね。そしたら、今度は泊まる所が見つからなくて困り果ててた私を一週間無償でホームステイさせてくれたのがそのおじさんの弟さん家族で、本当に至れり尽くせり、朝から晩まで凄いい量のご飯と寝るまでチャイってトルコの紅茶なんですけど、寝る寸前までずっとわんこそばみたいにチャイが注がれるんです。そういった向こうの生活に凄いい触れさせてもらったりとか、本当に国民全員がすごく良い人というか、心が温かい人達が多いです。よく親日家って台湾人とかの方もいっぱいいるんですけども、トルコ人は特に本当に親日だと思っていて、いろんな国を歩いてきて日本から来ましたと言うと大体、東京とか横浜、京都、大阪みたいにしか出てこないのが、向こうの人たちはみんな福島というものをわかっています。私が福島から来たと言うと、みんな地震、津波、大丈夫って必ず心配してくれる感じで、全く会ったこともない人達が突然お昼ご飯をご馳走してくれたり、夕ご飯をご馳走してくれたり、イスラムの国なのでお酒が駄目なんですけどお酒をご馳走してくれたり、なんかちょっと危険かなと思いつつも、本当に見ず知らずの人の家でよく飲んでました。それでもホテルまで



ちゃんと安全に送ってくれたりとか、また来た時はホテルを取らずにうちに泊まりなさいという感じで家族のように接してくれる国民の方達だと思ってます。今、ニュースでさんざん皆さんもう情報は得てると思うんですけども、向こうに住んでる私の友達は、イスタンブールとカッパドキアという、今の被災地からカッパドキアだと車で4時間くらいです。イスタンブールは程遠く離れてるので全く被害はないんですけど、カッパドキアは若干震度1か2くらい揺れたということで、普段揺れないのでやっぱり怖い思いをしたそうなんです。一応無事ではいるんですが、今トルコの国土って日本の二倍あるんですね。日本を横にして重ねたくらいの大きさなんですけども。その国土全部の小中学校、大学まで全部休校になって、当初15日までと言われてたのが延期になってるそうです。緊急の避難区域から来た方達が行く場所がなくて、結局カッパドキアが避難区域に指定されて、全く住まいが足りない状態で、町中のホテルが空き部屋を提供したり、あとは個人宅の方も空き部屋を提供したりしてるそうです。なので、被災はしてないけれどもトルコ全土の時が止まったよだということをお話してました。あとはもう本当にトルコの人って暖かいなと思うんですけど、被災地に向かう支援物資を積んだと思われる車を見かけたガソリンスタンドのオーナーが無償でその人たちにガソリンを入れてたとか、レストランのオーナーはありったけの材料を持って被災地に行って、もう店を閉めた状態でずっと炊き出しをしているとか、すごいなんか、何ですかね、心がみんな優しいんだなと思うんです。子供たちも町で支援物資を積み込んでる姿を見ると、皆さん並んでバケツリレーみたいに市民の方が協力してるそうです。あとは、献血ですね。今、本当に血が足りないそうでそれがニュースで流れて、被災地以外の人たちが皆さん献血所に行くものだから、ただ単に血を取ってもらうために4時間かかるそうです。それでも皆さん、並んで文句も言わず献血をされてるということでした。これは本当に日本というよりも、東日本大震災を経験した私たちだからわかることだと思うんですけども、とにかくこれからまだまだ時間もかかるし、もっと被害も膨らんでくると思うんですね。だんだんに報道というのは伝えなくなってくると思うし、それこそ日本のことではないということになれば、もっともっと早くニュースは流れなくなってくる時があって、忘れ去っていくのかなと思いつつも、やっぱり継続して支援はしていきたい

などということもずっと思っていて。とりあえず、私は最初いろんな方が、お店やってる方が売上金から寄付しますとか、セールみたいなことをやってる方がいるんですけども、それはなんかちょっとまだ違うかなと思って、個人的に駐日トルコ大使館のほうに寄付させていただいたところなんですけども。でも、この辺にトルコに関わる方があまりいないみたいで、いろんなテレビ局とか、様々な方から問い合わせをいただくんですね、こんな私が。なので、募金箱という形で皆さんからの気持ちを募らせていただいて、定期的にトルコ大使館、または人道支援とかしている、ちょっと読み方がトルコ語で難しくて発音がよくわからないので伝えられないんですけど、現地で行ってるトルコの国民からも今すごく称賛されてる団体がいるんですね。その支援団体というか。その方達のほうに日本からも送金できるというのが最近情報が入ってきたので、どちらかいずれかに定期的に送っていきたくと思っています。なので、もしまとまった金額とか法人で送りたいという方の場合は今、義援金詐欺がまたすごく増えてきているので、国連WFPとかセーブザチルドレンとか活動内容とかが全部明らかになるところに、そういうところを通じて寄付されるといいかなと思います。多分今日、居川先生はいらっしゃってるんですかね。寄付金控除とかも法人さんは受けられるので、もしよかったら居川先生とかにご相談いただけてやっていただければと思います。ちなみに、私はもう前々から2023年の10月はトルコで迎えると、トルコにいるというのを決めてたんですけど、10月29日がトルコの建国100周年になります。やっぱり国民性なのかかわかんないけれども、町中国旗がすごいなびいてて真っ赤な国旗なんですごくカッコいい、普通でもカッコいい町並みが更にかっこよくなるので、是非トルコに、現地に行ってお金を使っただけでも支援になると思うんですね。よく皆さんトルコと言うと、シリアとかの戦争とかで危ない危ないと言うんですけど、実際にこういう横長にあるとツアーで行くコースというのは、もう国境側には全く触れませんが、今の被災地にも全然かぶりません。本当に危険な所には全然回らなくて、素敵な場所がいっぱいあるので、是非ツアーで行ってみてください。魅惑のトルコと言われるくらい本当に素敵な国で、人も素敵です。なので、是非向こうの現地の人たちと触れ合っただけでも、もともと皆さん知ってると思いますけど、100年以上前から日本との交流がある国なので。これからもそういう形

で、福島って全くそういう関わりはないような感じもするんですけども、私個人的にすごく繋がりがあるように思っているのも、もしよろしければ皆さんも寄付というか、義援金を協力していただければと思います。ありがとうございました。

○会長謝辞

高島裕会長

今日は、突然の昨日の藤田委員長の無理な振りからお話いただいてありがとうございました。すごいおしゃれな靴を履いているんですけど、トルコの製品だそうです。今、お話いただいて全く知らない状態のところからある程度まではトルコに関しての理解はできたかなということと、最後のほうの話で国民性も、国旗をきちんと出す。よく私なんかも永野さんから、祝日には国旗出さなきゃ駄目だぞなんていう話、随分言われてるんですけど。やはり、愛国心が強い国なんだなということで、そういった部分では日本も忘れてる部分があると思いますので、見習わなければいけないのかなと感じております。少しでもトルコの文化に近づけるように、仁平さんのところでランプを作ったり、あるいはトルコの事についてもうちょっと関心を持って、これから我々も進んでいって、我々の出来る奉仕を少しでもトルコの皆さんに今回の地震によって被害を受けた方に届けられればなと考えておりますので、何かそういった部分で我々も相談もさせていただく場合もあると思いますが、その節は是非よろしくお願ひしたいと思います。本日は本当にお忙しいところありがとうございました。今日来ていただきましたことに対しての、クラブからのお礼となりますのでお納めください。それから、今集計のほう間に合いました。緊急で皆さんから募りました寄付金のほうが、今現在48,302円が集まりましたので、これを仁平さんのほうにお願いをして在日トルコ大使館のほうに送るとか、何とかそういった形で使っただけだと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。ありがとうございました。

